

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67 (八幡建設 2F)
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長：西川 昇
副 会 長：村土時男
幹 事：岩尾 誠
広報委員長：森下 光
会報担当者：國田大雄・前田伊三夫

2017 年度国際ロータリー会長：イアン・ライズリー (Sandringham ロータリークラブ・オーストラリア)
2017 年度国際ロータリーテーマ：ROTARY: MAKING A DIFFERENCE (ロータリー: 変化をもたらす)

<本日のプログラム>

第 2520 回 平成 29 年 8 月 21 日 第 3 月曜日
社会奉仕例会
(午後 6 時より慈恵中央病院にて)

<次回の予定>

第 2521 回 平成 29 年 8 月 24 日 第 4 木曜日
外来卓話
岐阜ダルク施設長 遠山 香様

<前々回の記録>

第 2518 回 平成 29 年 8 月 10 日 木曜日
物故者法要
法音寺郡上八幡支院 渡辺義彰様

司 会 進 行 西村 肇 SAA
点 鐘 西川 昇会長
ソ ン グ 郡上八幡ロータリーの歌
来 客 紹 介 小坂慶一会員
法音寺郡上八幡支院 渡辺義彰様

物 故 者 法 要
法音寺郡上八幡支院 渡辺義彰様による読経



出 席 報 告 大前正行クラブ奉仕委員

会員数	出席	補正	合計	出席率
39名(免除1名)	31名	6名	37名	97.4%

ニ コ B O X 廣瀬泰輔担当責任者

- ・法音寺郡上八幡支院渡辺義彰様、本日の物故者法要よろしくお願ひします。西川 昇
- ・法音寺郡上八幡支院渡辺義彰様、物故者法要よろしくお願ひします。岩尾 誠
- ・法音寺郡上八幡支院渡辺様、本日はご苦勞様です。村土時男

・法音寺郡上八幡支院渡辺様、物故者法要をありがとうございました。また、この後の講話をよろしくお願ひ申し上げます。

羽田野優男・林 健吉・平岩憲政・廣瀬泰輔
岩出明喜・河合 修・小坂慶一・國田大雄
前田伊三夫・松本英樹・松森 薫・三原慎也
水上成樹・森下 光・村井義孝・西村 肇
小笠原正道・大畑於左武・奥村芳弘・大前正行
酒井智義・竹内巧治・田代東次郎・和田英人
渡邊 剛・山下友幸

幹 事 報 告 岩尾 誠幹事

・可児・関中央・各務原・各務原中央・美濃加茂 RC より、例会変更の案内

<拝受>

- ・美濃加茂 RC より、活動計画書
- ・NPO 法人ぼこあぼこより、「ぼこあぼこだより第 18 号」

委 員 会 報 告

- ・酒井智義青少年奉仕委員長
8月20日の野外行事について
- ・竹内巧治会員
8月21日の社会奉仕例会について

会 長 の 時 間 西川 昇会長

本日の物故者法要には、法音寺様にはお盆前のお忙しい中お越し頂きまして誠にありがとうございました。小坂会員には、いろいろ段取りをして頂き、また仏具をお借りしまして無事法要を終えることが出来ました。ありがとうございました。

講 話 法音寺郡上八幡支院 渡辺義彰様

皆様、こんにちは。去年は確か急用が出来てお邪魔出来ませんでした、この時期にいつもお招き頂き、ありがとうございます。



私はお坊さんになる前、大阪に20年ほどおりました。その時、風の便りで郡上八幡の踊りを何度か聞いたことがあり、生涯の内に一度は行ってみたいと思っていましたら、僧侶の道に入り、郡上に

お寺を建てるからそこへ行きなさいとお師匠様に言われて20年になりました。聞くと見るとは大違いで、特にお盆の徹夜踊りの4日間はびっくりしました。普段は閑静な佇まいですが、踊りの時はとても賑わしく、これが小京都と言われる郡上八幡かと改めて思いました。

盆踊りにもいわれがありまして、お盆のいわれと重なる場所があります。後世の方がこじつけたようなところもあるかも知れませんが、実はお盆というのは、正式には盂蘭盆と言いまして、ウランバーナというサンスクリット語のインドの言葉を中国の方が盂蘭盆と漢訳し、それが日本に伝わって来ました。その時に盂蘭盆経というのが実はありまして、中国で作られた実際はお釈迦さまが説かれたものを編集したということです。

その盂蘭盆経の中に、こんな話があります。盂蘭盆の意味は逆さづりということで、親と子の情愛の物語りについて書かれています。お釈迦様のお弟子さんに目連さんという方がおり、その方のお母さんが慳貪(けんどん)の罪で天国に行けず餓鬼道に堕ちていたのを知り、息子の目連さんはお母さんを救うために施しをしたという話です。そのお母さんは、目連さんが施しをしたおかげで天国へ召されるのですが、ちょうど踊る様に召されたということです。

いろいろな意味合いがありますが、一つは親の罪を子供がとる…本来なら「親が親なら子も子だ」とよく言われますが、親が悪いことをしても、子供が良い行いをすれば、生きている親はもちろん、亡くなった親でも救われるということです。もう一つは、親の在り方と子の在り方という意味合いも入っています。親であるが故に犯してしまう罪がありまして、目連さんはまさにこれです。子供を自分の所有物のように思ってしまう、自分の子供は目の中に入れても痛くないという親心でしょうか。もしも自分の息子がお坊さんになって、修行がままならなくなって家に帰って来た時困るだろうと沢山財産を残した、そして時には人に後ろ指を指されるような行いをしても蓄えをした、その罪で亡くなってから餓鬼道に堕ちてしまった。子供は子供で本来なら親の悪いところも当然受け継いでいくのだろうが、自分の生き方を変えるべくお坊さんの世界に入って功德をつむ行いをしたおかげでお母さんの罪をとることが出来たということです。子であれば親をどう思うかということもこの盂蘭盆経には隠れており、親であれば子供は授かりもので、子供であればこの世を見させてくれたのが親であると教えています。

この盂蘭盆の逆さづりという意味は、皆さん逆さづりにされたことはないと思いますが、私は学生の時体操をやっいまして、練習で逆さづりにされました。足を結

えられ、手を後ろで縛られ、高い所から吊るされ、10分・20分、時には30分吊るされました。鉄棒からぶら下がっているのとは違い、本当に苦しいものでした。自由がきかず、飲む事も食べる事も出来ない餓鬼道の苦しさを表しているのが逆さづりです。つまり、そういう苦しんでいる人を救ってあげましょうというのが盂蘭盆なのです。

私達は、お盆にはお墓参りをすると小さな時から当たり前のようにして来ましたが、実際は親と子の情愛というものが隠れているのです。こうしてみますと、改めてお盆というのは、普段の心がけ・行ないも気を付けていかなければということをお教えられます。お釈迦様は、この世は思う様にならない世界だとおっしゃったそうです。思う様にならないのは、自分の心の中に、俺がとか私がという我が心があるからそうなんだと言われます。では、この世はもう終わりか、救いはないのかということではなくて、その我が心を取れば、或いは無くせば、幸せがやってくる、そして最後にその方法を説かれました。苦集滅道と言います。苦諦(くたい)がこの世は苦しみ、集諦(じゅつたい)が自己中心の行い、滅諦(めつたい)がそういうものを取り去った清らかな世界、道諦(どうたい)が幸せに至る道・自己中心の心を取る方法です。

最近、シビリアンコントロール(文民統制)とよく言われます。どういうことでもそうかも知れませんが、一方の人ともう一方の人と、必ず対立をしたり仲直りをしたりする繰り返しのうちに調整をする心を作ることがとても大事で、その心の元になる一つがお盆だろうということです。亡くなった方、先祖に思いをはせ、今生きている、命があるということを喜び、自分の出来ることで周りの人を力づけていこうとするのはとても大事なことで改めて思います。

人の思いは、必ず言葉となって行いに表れ、行いは必ず習慣となって性格を形作る、性格は自分の運命を呼び込んで人生を決めると言われた方があります。それはマザーテレサです。彼女はキリスト教徒で信仰の世界にみえた方ですが、仏教でも根底に流れるのは心です。心を立て直す、病んだ心を健やかにする、心の洗濯をするというのはとても大事なことです。それを何故するのかというと、感謝の心をおこす元になるからだということです。仏教で、感謝の心よりさらに尊いことは、感謝の心を行ないに表す人だということです。それは何故かというと、人は多くを語っても、ほどよく語っても、黙っていても非難をされる、それが人間だと言われたそうです。だから、有り難いと思う心のある人は、その分の何分の一かでも周りに施して下さいと言われます。そういうことのきっかけを作る一つの行事がお盆ということです。

先日、日本福祉大学へ行きましたら、学長さんが、ロータリークラブの方からよく御厚志を頂いたり、お骨折りを頂き有り難いとおっしゃって頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。

今日はお盆ということでお話をさせて頂きましたが、どうぞ亡くなられた方に思いをはせて、今生きている事に喜びを感じて頂きます様お願い致します。